

環境活動レポート

2012年度



目次

1. 組織概要	1	8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び	
事業の概要	1	評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	7
2. 対象範囲	1	9. 代表者による全体評価の見直しの結果	7
3. 環境方針	2	10. 環境活動報告(2012年度)	8
環境管理実施体制	2	環境配慮設計商品の開発発売	8
4. 環境目標	3	地域への貢献	9
5. 環境活動計画	3	エコプロダクツへの出展	10
6. 環境目標の実績	4	横浜FCとECOパートナーとしての取組	11
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、		泡の数だけ笑顔が増える！お肌しあわせキャンペーン	
次年度の取組内容	5		12

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

太陽油脂株式会社
代表取締役社長 土屋 重美

2) 所在地

神奈川県横浜市神奈川区守屋町2-7

事業の概要

1) 事業内容

- 加工油脂部門…ショートニング、マーガリン、その他食用加工油脂および油脂加工品の製造販売
- 家庭品部門…家庭用・業務用石けん、シャンプー、ハミガキ類、化粧品の製造販売

2) 事業規模

生産量 62,829 t / 年
従業員数 202人(2012/12/31現在)
床面積 16,262平方メートル



2. 対象範囲

1) 認証・登録範囲

- 加工油脂部門…ショートニング、マーガリン、その他食用加工油脂および油脂加工品の製造販売
- 家庭品部門…家庭用・業務用石けん、シャンプー、ハミガキ類、化粧品の製造販売

2) レポートの対象期間及び発行日

- 対象期間: 2012年 4月1日～2013年 3月31日
- 発行日: 2012年 6月19日



3. 環境方針

A-KE002-02-0

環 境 方 針

太陽油脂は、「誠実をモットーに、確かな技術とつくり精神に裏付けられた、人と、地球に優しい、安心・安全な製品の提供と各種の経営活動を通じて、心豊かで健康的な暮らしと社会・自然の持続可能な発展に貢献します」と掲げた企業理念の下に、以下の環境方針を定めます。

1. 環境、社会との共生に視点をいたした企業活動

- 1-1、太陽油脂は重要な社会的課題・環境問題に真摯に対応する経営の実践を通じて社会的責任を果たしていきます。
- 1-2、太陽油脂は「人、社会そして環境への貢献」を考えた具体的な経営活動・事業活動を積極的に展開していきます。

2. 人と環境に優しい製品の提供

- 2-1、太陽油脂は、「人と、地球に優しい」に拘った食用油脂製品と石けん製品を通じて、お客様に豊かで「安心・安全な生活」とともに「環境に優しい生活」をも提供していきます。
- 2-2、太陽油脂は、原料調達・生産から製品使用までの企業活動のあらゆる段階での環境への取り組みにおいて、環境関連法規、自主ルール等を順守しつつ「省資源・省エネルギー」「排水・廃棄物削減、リサイクル」等を推進していきます。

太陽油脂は、この環境方針の全従業員への周知徹底を行い、全員参加による環境、社会との調和を目指した企業活動を推進していきます。

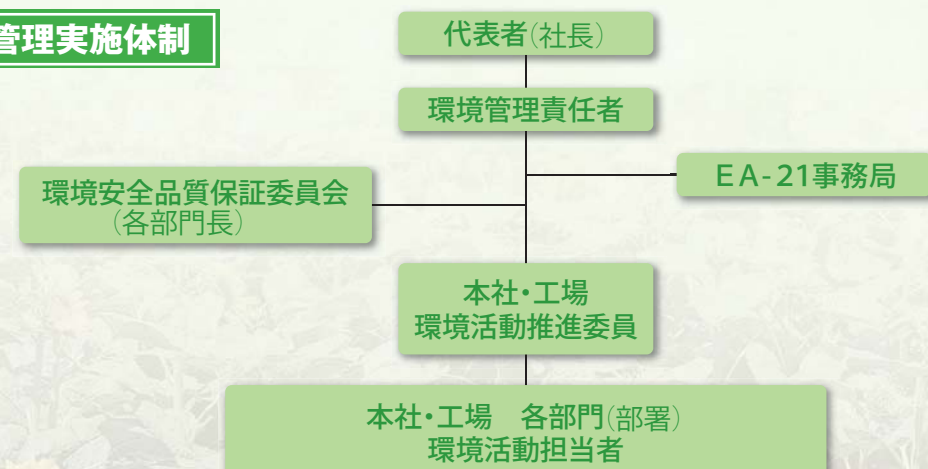
改訂日 2010年 12月 1日

太陽油脂株式会社

代表取締役社長

土屋重美

環境管理実施体制



4. 環境目標

2011年度の実績を踏まえ、2012年4月に見直した環境目標及び中期環境目標は以下の通りです。
(2012年11月に実績を踏まえ再度環境目標見直しを実施した。)(年度:4月～3月 以下同じ)

製品生産量当たり	基準年度実績 2010年度	基準年度比 2011年度実績	基準年度比 2012年度目標	基準年度比 2013年度目標
二酸化炭素排出 (k g－CO2／t)	224.87	94.5%	105.7%	105.2%
廃棄物排出量(t／t)	0.0642	96.6%	110.0%	105.0%
食品廃棄物の発生抑制(t／t)	0.0234	97.9%	120.1%	100.0%
食品リサイクル リサイクル率(%)	98.3%	98.3%	98.0%	98.0%
排水量(m3／t)	2.95	95.6%	122.5%	120.1%
化学物質使用量(k g／t)	0.0725	93.2%	75.0%	75.0%
グリーン購入 (作業着、事務用品)	1,353,173円	135.0%	221.7%	グリーン購入率 の現状把握 (職服、事務用品)
環境配慮設計 (家庭品事業)	20品/年	42品/年	20品/年	20品/年
地域とのコミュニケーション (石けん学習会など)	115回/年	86回/年	100回/年	100回/年

5. 環境活動計画

主要な取り組み内容と結果

活動項目		取り組み内容
二酸化炭素排出量削減	電力使用量	① 事務所用蛍光灯並び野外灯の更新時に省エネタイプの 照明器具採用。 ・LED照明及びH f 32wの省エネタイプを積極的に導入 ② 昼休み消灯 ③ 空調温度管理及び更新時トップランナー機種選定(エネカット設置) 夏(6月～9月)27～28度設定 冬(12月～3月)20～22度設定 ④ パソコン・テレビ待機電力削減
	化石燃料使用量	① 出張時の公共交通機関の積極利用 ② アイドリングストップの励行 ③ 急発進、急加速をしないエコドライブの徹底
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量	① 縮小コピー ② 両面コピー ③ FAXのメール化 ④ マイタオルの使用(職場場所限定)で紙使用量削減 ⑤ 一般廃棄物は単純焼却から再利用へ分別徹底する。
	産業廃棄物排出量	① 脱色用白土添加量削減と廃白土油脂分削減で廃白土削減。 ② 不適合品の削減で廃油・脂肪酸量排出削減
食品廃棄物 発生量削減	食品廃棄物 発生原単位削減	① 効率的な製品製造(収率UPなど) ② 賞味期限切れ製品の削減(ムダのない生産計画)
	食品リサイクル率	① 再資源化率を監視し、資源化率98%以上継続維持する。
排水量削減	総排水量削減	① トイレの水タンクへの1 L ペットボトル。 ② 節水コマの使用 ③ 水道栓の交換(ワンタッチ式) ④ 屋根雨水回収計画の作成
化学物質 使用量削減	化学物質使用量削減	加工工程の変更、使用量減で維持
グリーン購入	グリーン購入推進	① エコマーク品の職服を購入する (製造部・研究開発部・品質保証部) ② 事務用品のエコマーク品を購入する (たのめーる・A S K U L 等からグリーン購入の活用) ③ 他のグリーン購入品(家電製品など)
環境配慮設計	環境配慮設計	石けん事業 合成界面活性剤を使用せず石けんをベースにした商品開発
地域とのコミュニケーション	地域とのコミュニケーション	工場見学会、手作り石けん教室、環境講演会を開催する

6. 環境目標の実績

製品生産量当たり	基準年度実績 2010年度	基準年度比 2011年度実績	基準年度比 2012年度目標	基準年度比 2012年度実績	評価
二酸化炭素排出 (k g－CO2／t)	224.87	94.6%	105.7%	103.0%	○
廃棄物排出量(t／t)	0.0642	96.6%	110.1%	109.8%	○
食品廃棄物の発生抑制(t／t)	0.0234	97.9%	120.1%	122.8%	×
食品リサイクル リサイクル率(%)	98.3%	98.3%	98.0%	98.4%	○
排水量(m3／t)	2.95	95.6%	122.5%	123.7%	×
化学物質使用量(k g／t)	0.0725	93.2%	75.0%	72.7%	○
グリーン購入 (作業着、事務用品)	1,353,173円	135.0%	221.7%	323.7%	○
環境配慮設計 (家庭品事業)	20品/年	42品/年	20品/年	34品/年	○
地域とのコミュニケーション (石けん学習会など)	115回/年	86回/年	100回/年	84回/年	×

1) 環境負荷の実績

			基準年実績 2010年度	実績 2011年度	実績 2012年度	基準年度比(%)
二酸化炭素排出量	電気使用量： 排出係数 0.374 (kg-CO2/kWh)	原単位 (k g -CO2／t)	22.87	23.11	43.84	191.7%
	化石燃料使用 二酸化炭素 排出量	原単位 (k g -CO2／t)	201.99	189.46	187.71	93.0%
	合計	原単位 (k g -CO2／t)	224.86	212.57	231.55	103.0%
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	原単位(t／t)	0.00145	0.00129	0.00150	103.3%
	産業廃棄物排出量	原単位(t／t)	0.0627	0.06007	0.0689	109.9%
	合計	原単位(t／t)	0.0642	0.0620	0.0704	109.8%
食品廃棄物	発生量	t	1,479.4	1,561.9	1,762.6	119.1%
	発生抑制量	t	143.34	188.98	0	0%
	再生利用量	t	911.944	973.35	1,186.53	130.1%
	熱回収量	t	567.47	588.356	576.08	101.5%
	減量量	t	0	0	0	0
	再生利用等以外の量	t	0	0	0	0
	廃棄物としての処分量	t	0	0	0	0
再生利用等の 実施率	食品リサイクル率	(%)	98.3%	98.3%	98.4%	100.1%
排水量	排水量	原単位(m3／t)	2.95	2.82	3.65	123.7%
化学物質使用量	化学物質使用量	原単位(k g／t)	0.0725	0.0676	0.0527	72.7%

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1) 主要な取り組み内容と結果

活 動 項 目		取り組み内容	取り組み結果
二酸化炭素排出量削減	電力使用量	① 事務所用蛍光灯並び野外灯の更新時に省エネタイプの照明器具採用。 ・LED照明及びH f 32wの省エネタイプを積極的に導入 ② 昼休み消灯 ③ 空調温度管理及び更新時トップランナー機種選定(エネカット設置) 夏(6月～9月)27～28度設定 冬(12月～3月)20～22度設定 ④ パソコン・テレビ待機電力削減	① Hf32w・・・10ヶ所交換 L E D・・・ 41ヶ所交換 ② 各部署で実施 ③ 温度設定各部署で実施 2台の空調を省エネタイプに更新 ④ 各部署で実施
	化石燃料使用量	① 出張時の公共交通機関の積極利用 ② アイドリングストップの励行 ③ 急発進、急加速をしないエコドライブの徹底	① 該当部署(営業部など)で実施 ② 商用車及び入構車輛で実施 ③ 商用車で実施 (エコドライブ教育の実施)
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量	① 縮小コピー ② 両面コピー ③ FAXのメール化 ④ マイタオルの使用(職場場所限定)で紙使用量削減 ⑤ 一般廃棄物は単純焼却から再利用へ分別徹底する。	①・② 各部署で実施 ③ 業務部で実施④可能な部署で実施 ⑤ 市の指導に基づき各部署分別徹底
	産業廃棄物排出量	① 脱色用白土添加量削減と廃白土油脂分削減で廃白土削減。 ② 不適合品の削減で廃油・脂肪酸量排出削減	① 廃白土削減目標に向け活動(残油分削減に注力し活動中) ② 不適合削減目標に向け活動
食品廃棄物発生抑制	食品廃棄物発生原単位削減	① 効率的な製品製造(収率UPなど) ② 賞味期限切れ製品の削減(ムダのない生産計画)	① 2012年度の発生抑制実績 ： 0.0281 t / t (基準年比:122.9%)
	食品リサイクル率	① 再資源化率を監視し、資源化率98%以上継続維持する。	① 2012年度の資源化率:98.4%
排水量削減	総排水量削減	① トイレの水タンクへの1 L ペットボトル。 ② 節水コマの使用 ③ 水道栓の交換(ワンタッチ式) ④ 屋根雨水回収計画の作成	① 実施中 ② 各部署実施 ③ 各部署で実施 ④ 検討実施
化学物質 使用量削減	化学物質使用量削減	加工工程の変更、使用量減で維持	① 使用量削減実績 基準年度比 比 72.7%
グリーン購入	グリーン購入推進	① エコマーク品の職服を購入する(製造部・研究開発部・品質保証部) ② 事務用品のエコマーク品を購入する(たのめーる・A S K U L 等からグリーン購入の活用) ③ 他のグリーン購入品(家電製品など)	① 購入金額 ￥4,379,608 :基準年度(2010年度) 比 323.7%
環境配慮設計	環境配慮設計	石けん事業 合成界面活性剤を使用せず石けんをベースにした商品開発	石けん事業 34品種を商品開発
地域とのコミュニケーション	地域とのコミュニケーション	工場見学会、手作り石けん教室、環境講演会を開催する	年間84回実施(7回/月) 本社工場周辺の清掃活動実施(1回/週) お肌しあわせシリーズによるドネーション・キャンペーン (東日本大震災被災地への支援)実施

2) 主要な取り組みの評価

E A21による環境活動が5年目を迎えた2012年度は6月に新工場（N C C工場）が完成し稼動を開始するという大きな変更がある中での環境活動となりました。新工場稼動に伴う電気使用量や水使用量の増加は想定していたものの生産方法、生産体制の変更や稼動立ち上げ時の混乱により環境目標設定を11月に見直す取組みとなってしまうしました。二酸化炭素排出量削減の取組みはコージェネレーション設備の故障により購入電力量が大幅に増加となりましたが二酸化炭素排出量は若干の未達成、主要製品生産量（kg-C O 2/ t ）当たりの排出量削減の取組みは目標達成しました。廃棄物総排出量削減及び食品廃棄物発生量削減の目標は新工場立ち上げ時に発生した廃棄物の増加等により目標未達成となったが主要製品生産当たり（t / t ）は概ね達成となった。食品リサイクル率、化学物質使用量削減取組みは目標達成。水資源使用量削減取組みは概ね目標達成。総排水量削減取組みは新工場稼動に伴う洗浄方法変更もあり未達成。グリーン購入、環境配慮設計製品の開発取組みは目標大幅達成。地域とのコミュニケーション（石けん学習会など）取組みは新工場完成まで工場見学会を抑えていた為開催回数は未達成となったが本社工場周辺の清掃活動や石けん製品（お肌しあわせシリーズ）によるドネーション・キャンペーン（東日本大震災被災地の子供たちへの支援）を実施する事が出来た。

3) 次年度の取組内容

活 動 項 目		取り組み内容
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	① 事務所用蛍光灯並び野外灯の更新時に省エネタイプの照明器具採用。 ・LED照明及びH f 32wの省エネタイプを積極的に導入 ① 昼休み消灯/パソコン・テレビ待機電力削減 ② 6月～9月 クールビズの実施 ④ 空調温度管理及び更新時トップランナー機種選定(エネカット設置) 夏(6月～9月)27～28度設定 冬(12月～3月)20～22度設定 ③ 製造設備の適正設定による無駄の無い製造の実施
	化石燃料使用量削減	① 出張時の公共交通機関の積極利用 ① 生産量に合わせた効率の良い積載 ② ボイラーの効率運転 (更新時は省エネ機種を選定・・・H25年度下期計画)
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減	① 縮小コピー ② 両面コピー ③ FAXのメール化 ④ マイタオルの使用(職場場所限定)で紙使用量削減 ⑤ 一般廃棄物は単純焼却から再利用へ分別徹底する。
	産業廃棄物排出量	① 脱色用白土添加量削減と廃白土油脂分削減で廃白土削減。 ② 不適合品の削減で廃油・脂肪酸量排出削減
総排水量削減	水・工水使用量削減	① 節水コマの使用 ② 水道栓の交換(ワンタッチ式) ③ 冷却水及び洗浄水適正使用による水使用量の削減
	排水量削減	① 屋根雨水の回収計画推進
化学物質使用量削減	化学物質使用量削減	加工工程の変更 使用量減で維持
食品廃棄物発生抑制	食品廃棄物発生原単位削減	① 効率的な製品製造(収率UPなど) ② 賞味期限切れ製品の削減(ムダのない生産計画) ③ 不適合品や工程事故の発生抑制(ムダの無い製造)
	食品リサイクル率	再資源化率を監視し、資源化率98%以上継続維持する。
グリーン購入	グリーン購入の推進	① グリーン購入化率の現状を把握する。⇒ 次年度から実施率目標に変更予定(対象・職服、事務用品の購入件数に対するグリーン購入対象品の購入件数)
環境配慮設計	環境配慮設計	石けん事業 ①合成界面活性剤を使用せず石けんをベースにした商品開発 ② R S P O油使用計画案を作成する。
地域とのコミュニケーション	地域とのコミュニケーション	工場見学会、 ① 手作り石けん教室、環境講演会を開催する ② 地域清掃活動の継続実施(本社工場～入江橋周辺) ③ お肌しあわせシリーズのドネーション・キャンペーン継続実施による 東日本大震災被災地区の子供たちへの支援。 ④ ペットボトル・キャップを回収し小学校へ寄付

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1) 適用法令等の順守状況の確認及び評価の結果

適用法令等	対象施設	遵守状況の確認及び評価の結果
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	全社	「公害防止統括者(同代理者)選任・解任届出書」、 「大気関係公害防止管理者(同代理者)選任・解任届出書」、 「水質関係公害防止管理者(同代理者)選任・解任届出書」 …問題なし
大気汚染防止法	ボイラー、ガスタービン、 悪臭	「ばい煙発生施設(使用、変更)届出書」 排煙(N o xの許容限度)の規制基準
横浜市生活環境の保全等に関する条例		「指定事業所設置許可申請書」、 「指定事業所に係る変更許可申請書」年2回N o x測定、定期報告
		異常時の処置と対策…問題なし
水質汚濁防止法	排水処理設備	「特定施設設置(使用、変更)届出書」、「特定施設使用等開始報告書」 排水規制基準、水質測定、定期報告…問題なし
横浜市生活環境の保全等に関する条例		公共用水域に排出される排水の規制基準
		異常時の処置と対応…問題なし
騒音規制法	圧縮機	基準遵守、工業専用地域の為対象外…問題なし
振動規制法		基準遵守、工業専用地域の為対象外…問題なし
工場立地法	生産施設、緑地	生産施設、緑地の確保…問題なし
消防法	屋内貯蔵所	「危険物貯蔵所設置許可申請書」「指定可燃物貯蔵・取扱開始届出書」
	指定可燃物(タンク)	年2回の消防用設備定期点検。
	少量危険物(薬品庫)	「少量危険物貯蔵開始届出書」指定数量内の貯蔵、施設の点検、 防災訓練強化…問題なし
浄化槽法	浄化槽	「浄化槽設置計画書」年1回の定期検査、年2回の清掃
横浜市福祉のまちづくり条例	建物、トイレ、スロープ等	「整備基準適合証」…問題なし
横浜市駐車場条例	構内駐車場	「附置義務駐車施設(設置、変更)届出書」
特定化学物質の環境への排出量の把握等 及び管理の改善の促進に関する法律(P R T R法)	化学物質	「第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書」…問題なし
P C B廃棄物の適正な処理の 推進に関する特別措置法	コンデンサー	「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管及び処分状況等届出書(保管事業者用)」 密閉(s u s製)容器に保管、年1回報告…問題なし
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物置き場	「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」マニフェスト管理 「産業廃棄物処理計画」廃棄物置き場での掲示済み
横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例(規則)	全社	「産業廃棄物排出状況報告書」…問題なし
高圧ガス保安法	冷凍設備	特定施設届出済み、規制基準値内、危害予防規定提出済み。 危害予防規定届出済み、冷凍保安責任者を選任届出済み …問題なし
省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)	全社	CO2換算で温室効果ガス排出算出 排出量の定期報告(省エネ法定期報告で代用)…問題なし
温対法(地球温暖化対策の推進に関する法律)	全社	「エネルギー管理統括者／エネルギー管理企画推進者選任届出書」、「エネルギー 管理者選任届出書」、「定期報告書」、「中長期計画書」 (1%以上／年平均のエネルギー消費原単位低減努力)…問題なし
容器包装リサイクル法	工場	再商品化義務、再商品化委託料金の算出、識別表示 「再商品化委託契約申込書」((財)日本容器包装リサイクル協会)…問題なし
食品リサイクル法	工場、倉庫	食品廃棄物の再生利用、削減計画、報告…問題なし
労働安全衛生法	全社、分析部署	健康診断(特殊検診含む)、有機溶剤中毒予防規則の遵守…問題なし

2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局より違反の指摘及び訴訟は過去、6年間ありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

N C C工場立ち上げによる影響が所期の計画策定時の想定を大きく狂わせた事は判るが、単に達成ができそうとの基準をベースに目標の見直しが安易に成されるのは本末転倒である。大きく想定を狂わす環境変化等が起こった時にどのように目標が見直されるべきか等、手続き(ルール)をしっかりと定めること。太陽(会社)として形だけの活動をしてはダメ。何に拘って環境活動をしているのかが判る具体的な理念などきっちりと掲げて環境貢献の活動にしていかなくてはいけない。C O 2、廃棄物の削減は当たり前、更に+ aを目指しE A-21活動をしてほしい。

10. 環境活動報告(2012年度)

◎環境配慮設計商品の開発発売

最近の環境変化に伴い、日常使用している洗浄剤や化粧品で、地球環境を汚さず肌に優しい商品へのニーズが高くなっています。太陽油脂家庭品販促・開発部では、環境にやさしい石けん商品を開発してきましたが、今回、お風呂の愉しみシリーズの新製品で固形石けんの「お風呂の愉しみ プリュットナチュレ」、石けん作りに使用できる精油の「お風呂の愉しみ はっか油」。新たに透明石けんのボックスキャンディーソープシリーズ3種や好評なボックスナチュロンクリームソープシリーズの新しい香り「スイートローズ(SR)」と「アップル(A)」の2種を発売しました。また、「ボックスオリーボディーソープ」のリニューアルを行いました。本年度に開発した商品は、全て以下の『環境配慮設計の基準』を満たしております。

環境配慮設計の基準

- ① P R T R指定物質、医薬部外薬部外品の表示指定成分の有害性の指摘のある合成化学物は使用せず、石けんなどの生分解性良い原料を使用する。
- ② 製品は常圧以下で約1 0 0℃以下の温度で製造する。
- ③ 紙、段ボールなどリサイクルできる素材を採用し、塩素を含むプラスチック素材は使用しない。
- ④ 詰替可能なものは「詰替用商品」を積極的に作る。

環境配慮商品 (2012年度新製品)



お風呂の愉しみ
プリュットナチュレ



お風呂の愉しみ
はっか油



ボックスナチュロン クリームソープSR



ボックスナチュロン クリームソープA



ボックスキャンディーソープ
フローラルローズ



ボックスキャンディーソープ
フレッシュライム



ボックスキャンディーソープ
スイートアブリコット

環境配慮商品 (2012年度リニューアル製品)



ボックスオリーボディーソープ
泡ポンボトル550ml
・詰替用500ml

◎地域への貢献

太陽油脂は会社創立(1947年)当時より、粉石けんや台所石けん、石けんハミガキなどをお届けしてきました。そして近年、「バックスナチュロン」、「バックスオリー」、「バックスベビー」シリーズの石けんシャンプー、ボディークリーム、クリーム類も製造販売してまいりました。この間、消費者や生協などの団体に、石けんの使い方、石けんの環境に対する良さについて講習会などを通して広くお伝えしてまいりました。2012年度は、地域住民・学校・環境団体・NPO団体・生協等を対象に石けん講座、手づくり石けん教室、工場見学会を合計84回実施しました。また、NPO法人や学校などへ協賛品として石けん製品を13回送りました。

石けん講座、工場見学会

内容

- ① 植物油(オリーブ油、パーム油など)を使用した手づくり石けん(約5分ペットボトルを振ってつくる。)
- ② 合成界面活性剤などの合成化学物質、PRTR法での第1種指定化学物質を使わないシンプルライフ、石けん生活の提案
- ③ ソーラーパネル発電を活用した石けん工場の見学。子供向けには石けんチップを使った石けん作り

対象(参加団体)

- 生協・農協(パルシステム生活協同組合連合会、コープ自然派、よつば生協、ナチュラルコープ横浜、なのはな生協、グリーンコープ連合、富山県農協労女性部など)
- 行政・学校(子安小学校、神奈川学園、横浜緑園総合高校、帝京科学大学など)
- 共同購入・店舗(太陽サービス、大地を守る会、グルッペ三鷹店、エトワール海渡など)
- 環境団体(協同組合石けん連絡会、リサイクルデザインフォーラム・エコプロダクツなど)

参加人数 合計3131人(平均37.3人/回)

石けん教室の様子

地域の小学校の総合学習の一環として、昨年に引き続き「石けん教室」を開催しました。身近にある石けんを自分たちの手で実際に作ることで、楽しみながら環境についての学習が出来たと思います。これらの取り組み内容については、「泡エコ通信(ナチュロン通信)」にして希望者に年3回、3万部配布しています。



◎エコプロダクツへの出展

太陽油脂では、昨年に引き続き12月13～15日の3日間、東京ビッグサイトにて行われた「エコプロダクツ2012」に出展しました。(図1)

当日は、石けんの良さをわかりやすくまとめた「新・石けんBOOK」の他に、ミニサンプルを配布させていただきました。

また、昨年に引き続きTVモニターでは、石けんのことを知ってもらうためにマスコットキャラクター「洗太くん」を登場させて、石けんの歴史や作り方、なぜ石けんは安全なのか等を映像にてご紹介させていただきました。



図1



図2



図3

石けん製品のご紹介では、「バックスナチュロン」製品や、爽やかな香りが楽しめる「お肌しあわせシリーズ」、赤ちゃんや敏感肌の方にもお使いいただける「バックスベビーシリーズ」(図2)、無添加化粧品の「ナチュロン基礎化粧品シリーズ」等を展示しました。「固形石けんシリーズ」(図3)では、今年発売された色も香りも楽しい「キャンディーソープ」や、2種類の香りが仲間入りした「クリームソープ」をご紹介し、実際に香りをご評価いただきました。

今年で3回目になるタイの伝統工芸「ソーパークーピング」(図4)もブースを明るく演出し、記念に撮影されていただける方も多くいらっしゃいました！



図4

◎横浜FCとのECOパートナーとしての取組

2012年9月21日の毎日新聞に、環境保全に積極的に取り組んでいる「横浜FC」とECOパートナーとして環境活動に協力している太陽油脂の活動について掲載されました。

[illegible]

◎泡の数だけ笑顔が増える！お肌しあわせキャンペーン

太陽油脂製品「ボックスお肌しあわせ」シリーズの商品売上の一部を、東日本大震災被災者の学校が希望される品物に
買えお送りするというキャンペーンを実施しました。(図6)



- ① 吉田保育所:卒園式などに使用する演台をお送りし、お礼の手紙をいただきました。
② 荒浜保育所:カプラ積木(カプラ1000)をお送りし、お礼の手紙をいただきました。



太陽油脂株式会社